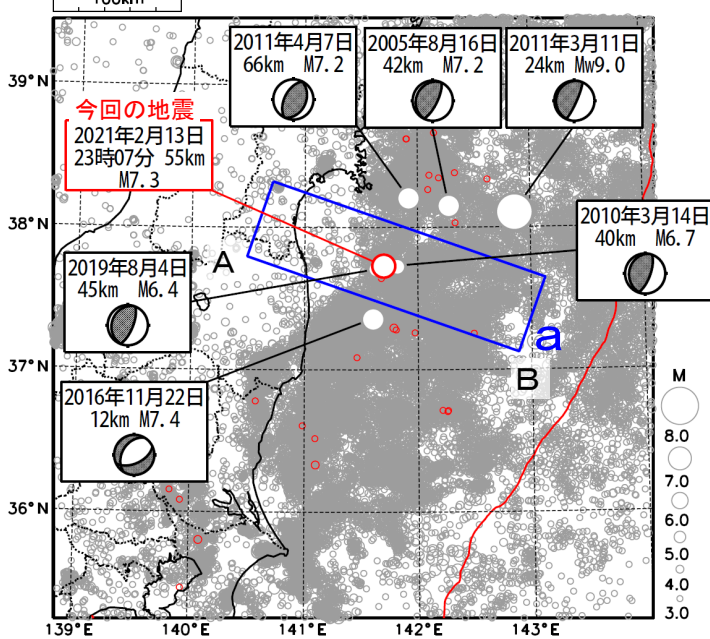


2月13日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2021年2月13日23時07分、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

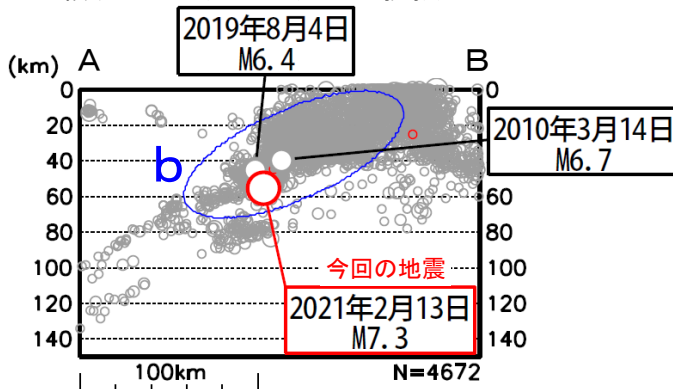
2021年2月の地震を赤く表示



震央分布図中の赤線は、海溝軸を示す

2016年11月22日の地震の深さはCMT解による

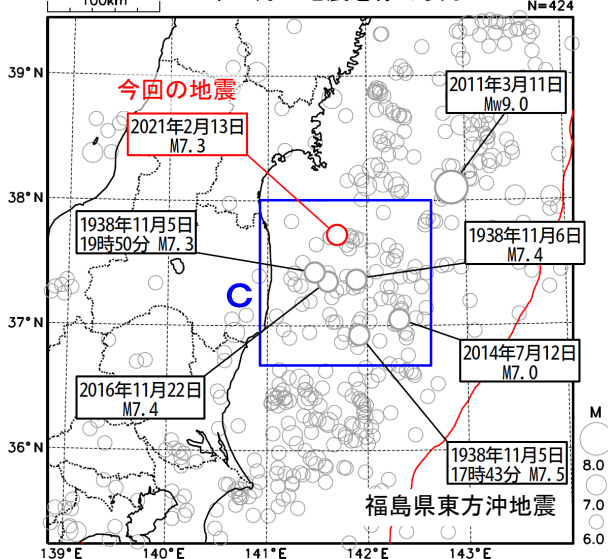
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2021年2月13日23時07分、
深さ0～60km、 $M \geq 6.0$)

2021年2月の地震を赤く表示



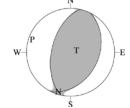
震央分布図中の赤線は、海溝軸を示す

2021年2月13日23時07分に福島県沖の深さ55kmで $M7.3$ の地震（最大震度6強）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解、速報）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、宮城県の石巻港で0.2m、宮城県の石巻市鮎川、仙台港、福島県の相馬で0.1mの津波を観測した。 $M7.3$ の地震後の最大規模の地震は、翌14日16時31分頃の $M5.2$ の地震（速報値、最大震度4）である（2月14日18時現在）。

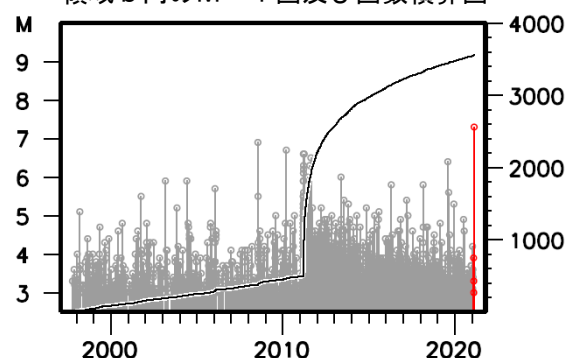
この地震により、負傷者157人、住家一部損壊1605棟などの被害が生じた（2月16日07時30分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降に地震活動がより活発になっているが、東北地方太平洋沖地震発生前から $M6.0$ 以上の地震は時々発生しており、東北地方太平洋沖地震発生前には2010年3月14日に $M6.7$ の地震（最大震度5弱）が、最近では2019年8月4日に $M6.4$ の地震（最大震度5弱）が発生している。

今回の地震の発震機構解
(CMT解(速報))

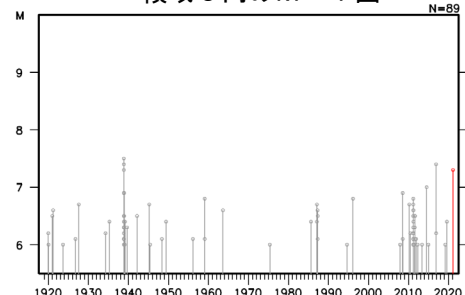


領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1938年11月5日に福島県東方沖地震（ $M7.5$ 、最大震度5）が発生している。この地震の後、翌日までに $M7.0$ 以上の地震が2回発生している。また、花洲で56cmの津波を観測した（津波による被害なし）ほか、福島県で死者1人、負傷者9人、住家全潰4棟、半潰29棟等の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



気象庁作成